

『旅する対話』(姜信子、ザーラ・イマーエワ共著 春風社) **刊行記念**  
～旅する対話・2013・博多編～

ディアスポラ(故郷喪失)、戦争、トラウマ、再生、アート、歌……、  
語り合うテーマはなんでもあり。

3月4日、ブックスキューブリックに集うあなた次第!

さあ、あなたも、共に、「旅する対話」を!

**日時：2013年3月4日 19:00 から**

**会場：ブックスキューブリック箱崎店**

**参加費：1,500円(ワンドリンク付き)**

〒812-0053 福岡市東区箱崎1丁目5-14 ベルニード箱崎1F

---

2004年、

かつてスターリンによって追放された17の民族が  
共に困難を乗り越え生き抜いたカザフスタンの荒野を、  
アゼルバイジャンに亡命中のチェチエン人ジャーナリスト ザーラ・イマーエワと、  
在日3世の作家 姜信子が対話の旅をした。

チェチエン人も、コリアンも、  
追放され、故郷を失い、異郷で生き抜いた17の民族のひとつだったのである。

ザーラは平和憲法を持つ日本に希望を託し、姜は戦火のチェチエンに、日本の明日を予感した。

二人は、  
植民地支配を、ディアスポラ(故郷喪失)を、戦争を、離散する民族を、失われゆく文化を、傷つく命と心を、そして再生への道を語り合った。

この時の(2004年)の旅の記録(単行本『旅する対話』、映像『行って・らっしゃい』)を携えて、

2013年、二人は再び対話の旅に出る。

今度は、3・11以降の、ディアスポラが現実のものとなりつつあり、  
ますます「予感」を色濃くする日本を巡り歩く。

日本の各地で、さまざまな人々と言葉を交わし、予感を乗り越え、希望を模索する旅が始まる。

博多では、博多ならではの、対話の集い。

あなたとの出会いと語らいを心より楽しみにしています。

**ザーラ・イマーエワ&姜信子**